２０２４年度　ファミリーウオーキング①

「神戸・桜の名所巡り」　約７km(一般向き)

４月７日（日）　午前９時３０集合・出発

集合場所：JR / 鷹取駅（妙法寺川左岸公園）
竹の花橋　⇒　妙法寺公園(桜並木)　⇒　妙法寺公園右岸 ⇒
西国街道　⇒　須磨離宮道 ⇒　綱敷天満宮　⇒　須磨寺公園
須磨寺　　⇒　現光寺　⇒　JR・山陽 / 須磨駅（ゴール）
昼食休憩はありません
※　ゴール時間：１２時 30 分頃

（リーダー：久川 正博）

ウオーキングマナー五ヶ条
1．やあ！おはよう　明るい挨拶　さわやかに
2．信号で あわてず　あせらず　待つ余裕
3．ひろがるな！　参加者だけの道じゃない
4．自分のゴミ　　自分の責任持ち帰り
5．歩かせて　いただく土地に感謝して・・・

免責事項
事故には各自で十分に気をつけて下さい。
当協会では応急処置及び受付時に加入した
傷害保険以外の責には応じかねます。

歩行時の緊急時の連絡先
０９０－１９６１－９７３０
（公財）神戸市スポーツ協会
神戸ウオーキング協会
神戸市中央区吾妻通 4-1-6
神戸市生涯学習支援センター内
Tel&Fax　078-251-0114

2024年4月7日(日)ファミリーウオーキング【神戸・桜の名所の公園巡り】
(本日、訪れるところの参考資料です)

【妙法寺川公園】(みょうほうじがわこうえん)

1900年に日本国有鉄道(現在のJR西日本旅客鉄道)鷹取工場の跡地に作られた都市公園で、1995年阪神淡路大震災で莫大な被害を受けて、再起不能でしたが、神戸市からの要望で、復旧作業で再開されましたが、2000年に工場が閉鎖され、跡地は現在、マンション、小学校、公園になっています。

鉄道の跡地ですので、レールや車輪などが、展示されており、子供たちが楽しめる遊具もあります。妙法寺川は南は須磨港に流れている川で、北は権現宮證誠神社付近まで、川の両岸には今は、"ソメイヨシノ"を中心とする400本の桜並木が連なっており、市民の憩いの場所になっています。

【西国街道と古代山陽道】(さいごくかいどうとこだいさんようどう)

現代の4車線道路である中央幹線は、その一部は江戸時代に京から下関を結ぶ主要街道である西国街道を踏襲しています。

江戸時代には参勤交代の大名行列もこの道を行き来していました。また奈良～平安時代に平城京(奈良)や平安京(京都)から九州大宰府(福岡)を結ぶ官道である古代山陽道も踏襲しています。

中央幹線は長田神社付近までほぼ直線ですが、これは古代の官道ができるだけ直線道として計画的に造られた道で、その古代の道が現代の中央幹線にまで引き継がれているからです。

【網敷天満宮】(つなしきてんまんぐう)

菅原道真は九州大宰府に左遷され船で向かう途中、風波をさけて須磨に上陸した際、村の漁師たちが漁網の大綱を巻いて円座を作り、そこで休息してもらいました。網敷天満宮は、その後道真が天満天神として祀られるようになった時、そのことにちなんで天元2(979)年創建されたと伝わっています。この神社に伝わる伎楽面は平安時代初期に作られたと考えられる大変貴重なもので、神戸市指定有形文化財になっています。

「とおりゃんせ、とおりゃんせ、ここはどこのほそみちじゃ、天神様のほそみちじゃ、ちょっと、とおしてくだしゃんせ」は有名な童謡ですね。

ここから須磨寺の参道までを【智恵のみち】と言われています。道真公は承知12年6月25日に京都で生まれ、そして、その立身出世を心よく思わなかった人に、ねたまれ、うとまれ、藤原氏が道真公は天皇様に対して良くないたくらみをしていると天皇様に告げたので、右大臣道真公は家族に別れを告げ、大宰府に左遷され、自分の罪は無実と天に訴えられましたが、哀れな生活をおくられ、再び京都に帰りたいとの思いを持っておられましたが、病気のため、大宰府で59歳の時に亡くなりました。

"東風吹かば、にほひをこせよ梅の花　主なしとて春を忘るな"

【上野山福祥寺(須磨寺)】(じょうやさんふくしょうじ)

須磨寺として広く知られている上野山福祥寺は真言宗須磨寺派の大本山です。

平安時代初めの淳仁天皇の頃(823～833 年)に漁師が和田岬の沖で聖観音像を引き揚げ、兵庫会下山のお寺に安置していたものを、仁和2(886)年、聞鏡上人が須磨の地に移したことが始まりとされています。豊臣秀吉が天下人となり伏見城にいた文禄5(1596)年に京阪神を襲った大地震「伏見慶長の大地震」により堂塔が倒壊しましたが、豊臣秀頼や片桐且元の寄進によって再建されました。本堂内の宮殿及び仏壇や木造十一面観音立像、絹本著色普賢十羅刹女像(以上国指定重要文化財)、不動明王立像、鰐口、当山暦代(歴代住職の記録)、石造十三重塔(以上兵庫県指定重要有形文化財)、木造聖観音坐像、紙本著色平敦盛画像、絹本著色天台四祖像、銅製鍍金釣燈籠(以上神戸市指定有形文化財)といった数多くの文化財を有しています。

ここは源平合戦ゆかりの古刹で、境内には平敦盛卿の青葉の笛、弁慶の鐘、敦盛卿の首塚、義経腰掛の松、源平の庭など、句碑、歌碑もあります。

【現光寺】(げんこうじ)

今年のNHK大河ドラマ"光る君へ"の「源氏物語・須磨」主人公光源氏の住居跡と伝えられています。

もとは"源氏寺"とも言われ、境内には松尾芭蕉の名句「見渡せば、眺むれば見れば須磨の秋」の碑や正岡子規の句碑があり、寺の近くは古代の須磨の関跡だとも言われています。

資料協力:神戸市文化財課

参考文献:神戸市桜の名所、網敷天満宮HP、大本山須磨寺HP、須磨観光施設協議会の資料を参考にさせて頂いて居ります。